

# 第3学年 特別活動(学級活動)指導案

日時 平成15年11月11日(火)

児童 3年2組(男13名、女10名、計23名)

授業者 T1 佐藤 優

T2 菊地 栄子

## 1 題材名 目を大切に

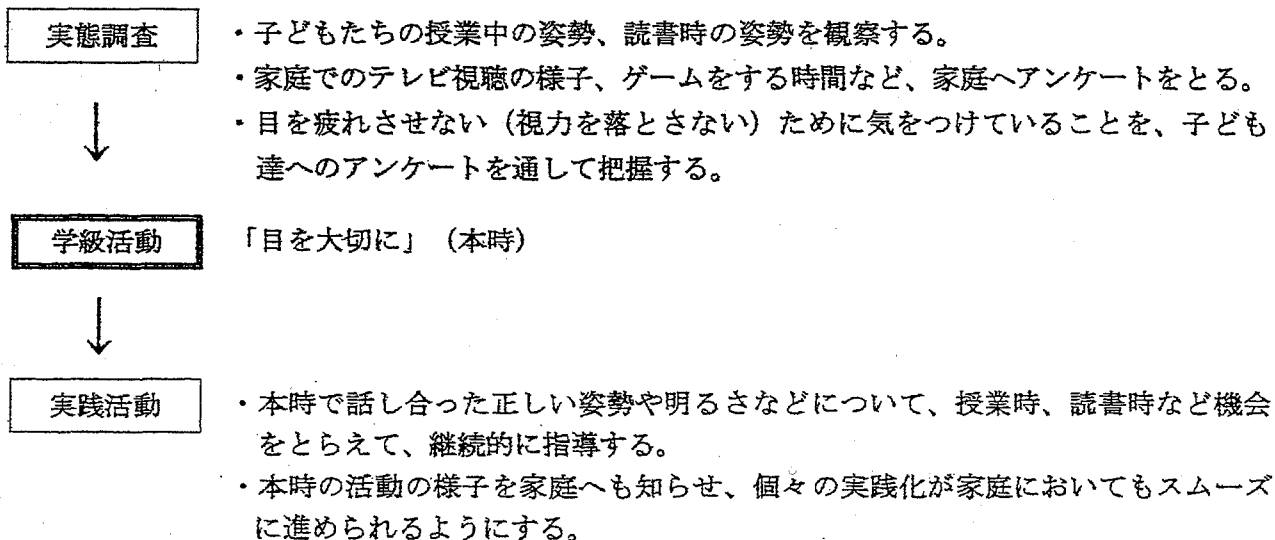
### 2. 題材設定の理由

目は、人間の体の中でも特に大切な器官のひとつである。目で物を見ることにより、物の形、色、大きさを見分けたり、明るさや遠近を判断したりし、多くの情報が得られる。人間が情報を得る80%は、目から入ると言われ、目は人間が生活をおくる上で重要な働きをしている。しかし、目を大切にする必要性は分かっているにもかかわらず、実際は、日々健康に過ごしているため、目の大切さやありがたさは忘れてしまいがちである。子どもたちの日常生活からは、近距離でのテレビ視聴、長時間にわたるテレビゲーム、乱れた姿勢など、目を疲れさせている様子がうかがえる。

全国的な統計を見ると、小学生の近視の割合は年々増加しており、現代の子どもにとって視力の低下は共通した大きな問題であると言える。本学級においても、春の視力検査時には、裸眼視力が0.9以下の児童数が4名(17%)であったのが、秋の検査時には6名(26%)と増加している。また、統計から見ると、高学年、中学生と学年が進むにつれて、近視の児童の割合が増加していることから、現在よい視力をしていても、これからの生活の仕方によって視力が低下することも考えられる。小学校の低学年は、健康づくりの基本的習慣を身につける時期として重要である。そこで、自分の目の大切さに気づき、その健康を保つための習慣や態度を身につけ、実践できるようにすることが大切であると考え、本題材を設定した。

本活動では、視力低下の原因を自分の生活と結びつけて考えさせ、一人一人の問題ととらえさせていきたい。本時では、近視が増加の傾向にあること、自分にも場合によっては視力低下のおそれがあることを、視力検査のグラフによってとらえさせ、一人一人の問題意識を高めたい。その上で、自分の普段の生活を振り返り、テレビを見るときや、読書、学習時の姿勢、時間、距離、照明などの視点から原因を把握させていくようにする。そして、視力低下を防ぐために知っていることや考えたこと、実践していることを話し合い、今後の生活で気をつけさせたいと考える。また、養護教諭の協力を得ることで、専門的な立場からの補足説明を受けたりすることができるようにし、実践化への意欲を高めていきたい。

### 3. 本題材に関わる指導の経過



#### 4. 本時の活動

##### (1) ねらい

日常活動を振り返り、視力低下の原因や目のためによりよいことを話し合う活動を通して、自分の目を大切にしていけることができるようにする。

##### (2) 展開

段階	学習内容と学習過程	指導上の留意点	資料
導入 7分	<p>1 視力低下についての問題意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの視力低下について相談にきたお母さんの話を聞く。</li> <li>・学年と視力の関係を資料から読みとる。</li> </ul> <p>2 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>目を大切にするためには、どうしたらよいか考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の小学生の視力検査の結果を提示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健統計</li> </ul>
展開 25分	<p>3 自分たちの生活を振り返り、視力低下の原因について考える。</p> <p>4 目を大切にするために、日常生活の中でどんなことをしていけばよいかを話し合う。</p> <p>5 解決策についての補足説明を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ（テレビゲーム）の視聴時間、距離についてアンケートからまとめたものを発表する。</li> <li>・授業中の子どもたちの様子をビデオで見せ、姿勢に目をむけさせる。</li> <li>・原因となる事柄をやらなだけでなく、目によいことも考えさせる。</li> <li>・目によいことを実践している子から、実践方法を紹介してもらう。</li> <li>・養護教諭から、児童の話し合った解決策について、目によいわけや補足的事項を説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフ（アンケート）</li> <li>・VTR</li> <li>・写真</li> </ul>
終末 13分	<p>6 目を大切にするために、自分でどんなことを毎日実践していくか、カードに書き、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日からできることを、具体的にまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カード</li> </ul>

##### (3) 評価

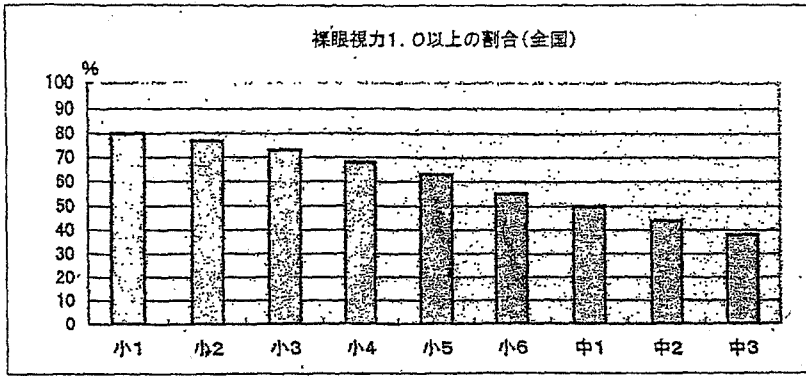
日常活動を振り返り、視力低下の原因や目のために実践していくことに関する話し合いを通して、自分の目を大切にしていけるための具体的な視点や方法について自己決定することができたか。

(4) 板書計画

グラフ「視力検査」 (全国の統計)	目を大切にするにはどうしたらよいか考えよう。	絵図 姿勢	絵図 姿勢	絵図 姿勢
学年が上がるにつれて 視力1.0以上の 人数がへってきている	目によくないこと	目を大切にするには・・・		
	・テレビの見すぎ	・ノートに目が近い。	・テレビを見たり、ゲームを する時間をきめる。 ・テレビから3mは離れる。 ・学習時のしせい。 ・読書時のしせい、明るさ。	
	アンケート結果	アンケート結果		
	・ゲームのやりすぎ	・ねながら読書。		
	アンケート結果	アンケート結果		
	・テレビとの距離が近い。	・暗い場所での読書。	・前髪を短くする。 ・栄養。 ・遠くを見る。	
	アンケート結果	アンケート結果		

5 資料

① 学校保健統計(全国)より



② アンケート結果より

